

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37・38	介護度が高くなり、自己表現ができない入居者が増えて、希望に沿った介護ができていないか、疑問が残る。	入居者に合った最適な介護を提供し、できるだけ希望に沿った介護を行う。	入居者の行動を注意して見て、今、何が必要なのかを考えながら、介護に当たる。 また、職員間の連絡を密にして、その人らしい暮らしができるように支援していく。 (連絡ノートの活用、行動一覧表の活用)	3か月
2	2	地域住民との結びつきは少なく、ほとんど交流ができていない状況にある。	「スマイル荘」の活動や入居者の生活等を地域住民にお知らせし、交流ができるようにする。	4ヶ月に1回、広報誌を作成し、地域住民や家族に配布する。	4か月
3	35	災害備蓄の食料品は米と乾物のみなので、今後に不安がある。	災害発生時に備え、米と乾物だけでなく、カレー等の保存食等を3日分程準備する。また、ミネラルウォーターも期限切れにならないように備蓄する。	災害備蓄の飲料水、食品を最低3日分備蓄し、消費期限を記録して、随時、交換する。 期限が近くなった食品は入居者と一緒に食べ、その時に、災害について話し、災害に備える。	3か月
4	34	救急救命講習は全てのスタッフが2～3年に一度受講しているが、緊急時に確実にできるか、不安が残る。	緊急時には、どのスタッフも救急救命の行動が行える。	自主防災訓練時に救急救命の練習を行う。 また、半年に1回、勉強会を開き、練習を行う。	6か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。